

アオモンギンセダカモクメ チョウ目ヤガ科

Cucullia argentea Hufnagel

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

国内分布は局地的で個体数がきわめて少ない。本種の生息する河原の自然植生の草地は破壊が著しく、生存が危ぶまれる。

形態

開張は35mm内外。前後翅は銀白色で、前翅には緑色の網目模様の斑紋が表れる。

国内分布

秋田県、新潟県、富山県、石川県、福井県、佐賀県の日本海側と兵庫県、岡山県、香川県、愛媛県の瀬戸内沿岸域から得られているが、局地的であり、いずれの産地も個体数はきわめて少ない。

県内分布

川北町でのみ得られている（参考文献では美川町となっているが誤りである）。採集地点は手取川河口から1.2km上流の河川敷の草地であり、1998年9月に1頭が採集されたに過ぎない。

生態

植生の貧弱な河原の草地に生息する。幼虫の食草はカワラヨモギで、幼虫は花穂を食している。成虫は8月下旬から9月にかけて発生していると思われる。

生息地の条件

カワラケツメイ、カワラヨモギ、カワラハハコなどの生育する河原の自然植生が残されていることが重要である。

生存の危機

生息地である手取川下流の右岸河川敷周辺は、護岸工事、公園化などで、河原本来の植生がほとんど失われている。本種の採集地点も2004年に土木工事が行われて生息地が破壊されたため、絶滅した可能性が高い。（A）

特記事項

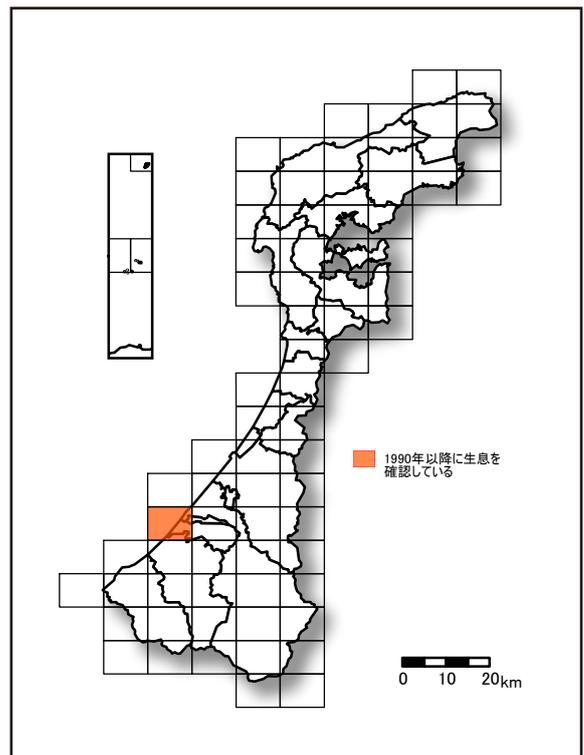
国内分布が偏在しているうえ、海浜や河川敷の自然植生が保たれている平地草原という特殊環境に生息する点が重要である。

参考文献

富沢 章 1998. 石川県でアオモンギンセダカモクメを採集. 蛾類通信, (202) : 32.



標本提供者：富沢章



県内の分布